

KANSAI

University

NEWS

特集

「考動」する夏で、
未来への種をまこう!

夏カツ☆就カツ!!
ガイド

【VIVA!学び場】
社会学部 マス・コミュニケーション学専攻
メディアが創る「現実」
～外国人が旅する“Nippon”研究～ 山口 誠教授

関西大学通信のニックネーム

「KANDAI STYLE」

次号(10月号)から表紙に登場!!

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】
関大生ショッピング事情

「考動」する夏で、未来への種をまこう！ 夏カツ☆就カツ!! ガイド

もうすぐ待ちに待った夏休み。自分のための自由な時間が取れるこの期間、今一度、将来のことについてじっくりと考えてみませんか。そこで、今回の特集では2011年度の関西大学・就職データと、関大生たちの就職活動に関わる夏休みの過ごし方をご紹介します。将来を左右するかもしれない貴重な夏休みを、あなたはどのように過ごしますか。

2011年度の就職状況について

- 就職率は95.3% (前年比1.0ポイント上昇) (2012.4.末現在)
- 巨大企業・大企業への就職率は59.8% (前年比0.6ポイント下降)
- 金融・保険業、製造業、卸売業・小売業、情報通信業への就職が6割
- 3年次の秋学期試験終了直後の1月末から本格的な就職活動が始まる

2011年度の就職環境は、東日本大震災の影響で、一部の業界や企業が選考スケジュールを急きょ後ろ倒しに変更するなど、学生にとっては大いに戸惑う状況となりました。その後も震災や原子力発電所事故とそれに伴う電力不足などの影響により、日本経済は低迷を深め、さらには欧州の経済危機や歯止めの利かない円高など、次々と難題が続きました。また、2008年のリーマンショック以降の低迷状態から抜け出せておらず、依然厳しい雇用環境が続いてはいますが、震災復興と相まって、各企業の採用意欲は少しずつですが回復傾向にあるといえます。

さて、学生たちの動きを振り返ると、3年次の秋学期試験終了直後の1月末から企業のセミナーへ参加し始め、2月以降は、エントリーシートの提出、筆記試験、面接試験などの活動を本格化させていきました。その後、前述のとおり東日本大震災の影響で大手企業が軒並み選考スケ

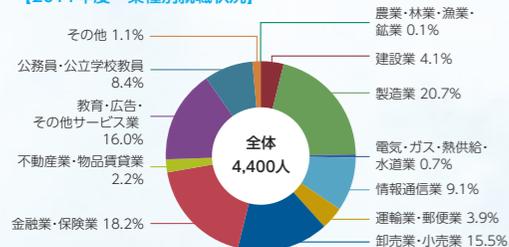
ジュールを急きょ後ろ倒しに変更するなどの混乱があり、学生が就職活動へのモチベーションを維持することに苦心する状況もありました。5月以降、一時ストップしていた企業の採用活動は再開され、学生は金融・メーカー・商社などから随時内定を取得していきました。

2011年度の本学学生の就職率は95.3%で、前年度と比べて1.0ポイント上昇する結果となりました。

就職決定者の内容を検証すると、例えば、規模別状況では、巨大・大企業への就職率が合計で59.8%、中企業は26.0%、小企業は14.2%となり、前年度と比較すると、巨大・大企業は0.6ポイント下降し、中企業は1.3ポイント上昇、小企業は0.7ポイント下降しました。

業種別状況で見ると、金融・保険業、製造業、卸売業・小売業、情報通信業への就職率が63.5%と約6割を占めています。

【2011年度 業種別就職状況】



【2011年度 規模別就職状況】



※企業規模は従業員数により、以下のように区分します。
巨大企業=従業員数3,000人以上 大企業=従業員数2,999人~500人
中企業=従業員数499人~100人 小企業=99人以下
※上記に公務員・公立学校教員368人は含みません。

就職先上位一覧(文系)

順位	企業名	就職者数
1	日本生命保険相互会社	32
1	株式会社三井住友銀行	32
1	株式会社りそな銀行	32
4	大阪府教員	31
5	株式会社近畿大阪銀行	28
6	株式会社三菱東京UFJ銀行	25
7	大阪府警察官	23
8	郵便局株式会社	22
9	東京海上日動火災保険株式会社	20
10	株式会社南都銀行	17
11	株式会社京都銀行	15
11	国税専門官	15
11	株式会社みずほフィナンシャルグループ	15
14	住友生命保険相互会社	13
14	野村證券株式会社	13
16	株式会社紀陽銀行	12
16	株式会社中国銀行	12
16	西日本旅客鉄道株式会社	12
19	株式会社関西アーバン銀行	11
19	株式会社ゆうちょ銀行	11

就職先上位一覧(理系)

順位	企業名	就職者数
1	大阪府教員	12
2	大和ハウス工業株式会社	6
2	西日本旅客鉄道株式会社	6
2	三菱電機ビルテクノサービス株式会社	6
5	東海旅客鉄道株式会社	5
6	株式会社二トリ	4
6	パナホーム株式会社	4
6	三菱電機エンジニアリング株式会社	4
9	大阪府教員	3
9	神戸電鉄株式会社	3
9	スズキ株式会社	3
9	ダイタン株式会社	3
9	戸田建設株式会社	3
9	奈良県職員	3
9	西松建設株式会社	3
9	日本電産株式会社	3
9	森永乳業株式会社	3
9	山崎製パン株式会社	3
19	本田技研工業株式会社	2
19	株式会社明治	2

インターンシップに参加して
将来のイメージがより具体的に。

就職するなら営業職と考えてはいたのですが、実際に営業の仕事がどんなものなのかを知らずに就職活動も始められないと思い、3年次生の夏にインターンシップに参加しました。期間中は営業先への同行をメインに、工場見学や役員の方へのプレゼンなども経験できて、営業の仕事内容はもちろん、働くということを1から学べたことが良かったです。おかげで自身の将来のイメージがより具体的に変わったと思います。それに社会に出ると他の年代の人と話す機会も多いので、普段からアンテナを張り巡らせて興味の幅を広げておくことが大切だと感じました。



藤田 知之さん
社会学部4年次生
【内定先企業】
株式会社村田製作所

どんなことにも一生懸命打ち込み、
考えて行動することが大切です。

3年次生の夏休みは、アルバイトやボランティア活動、旅行など、学生時代にしかできないことに積極的にチャレンジしていました。これらの活動は就職には直接関係はないものの、何か一生懸命打ち込み、考えて行動することは、必ず就職活動の役に立つと思います。就職活動が本格的にスタートすると、やらなければいけないこと、考えなければいけないことが山ほどあるので、何事も早め早めに進めておくことが大切。空いた時間に筆記試験の勉強を進めておくなど、3年次生の夏休みを有効に活用したいですね。



内谷 優香さん
法学部4年次生
【内定先企業】
株式会社あおぞら銀行

海外のインターンシップで
人間的に大きく成長したい。

以前からグローバルな環境で仕事がしたいと考えていたので、国際インターンシップに応募しました。これまでも留学の経験はあるのですが、今回はより厳しい環境に身を置き、人間的に大きく成長できればと思っています。インターンシップでは、仕事を通じて現地の人と交流するのがとても楽しみです。それらの交流を通じてビジネス英語やコミュニケーション能力を向上させたいですね。将来は留学やインターンシップで経験したことを生かせる、日本と海外の懸け橋になるような仕事に就ければと考えています。



谷 里穂さん
政策創造学部3年次生
【インターンシップ実習先】
アメリカ・ミズーリ州での
国際インターンシップ

夏休みは大きく成長するチャンス。
何事にも貪欲にチャレンジし続けてほしい。

夏休みは、普段の大学生活から離れ、日常とは異なる経験をすることで大きく成長できるチャンスです。まだ予定の決まっていない人は、学外で受け付けをしているインターンシップやボランティアなど、今からでも間に合うものがあります。何事にも貪欲に挑戦してみよう。そして、既に予定の決まっている人は、全力で挑戦することを意識してください。例えばインターンシップ先では、指示されたことだけを行うのではなく、五感をフル回転して誰よりも積極的に行動しましょう。成長するためのショートカットはありません。一瞬一瞬を真剣に取り組むことによって、経験はより実り多きものになるはず。夏休みの経験をもとに得られた手応えや課題を、秋学期からの大学生活でもっと深めていってください。内定を取得した4年次生・M2生の多くも、この挑戦の連鎖を通じて成長し、納得いく進路を獲得しています。皆さんも自分自身の器を広げるきっかけを、これから始まる夏休みの経験から形作っていきましょう!

キャリアセンター事務グループ長
乾 友篤さん

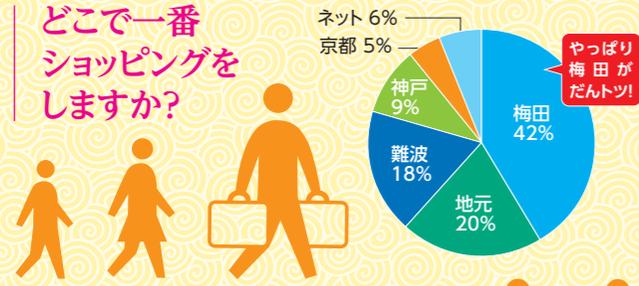


みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

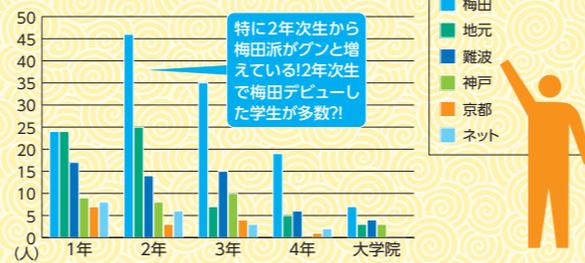
関大生ショッピング事情

今回の誌上教室では、関大生のショッピング事情にクローズアップ。
アンケート結果をひもときながら、最後は大阪のまちを元気にする方法についても考えてみました。
【アンケート期間:5月7日~5月21日 対象:関大生 回答者数:315人(男子:37% 女子:63%)】

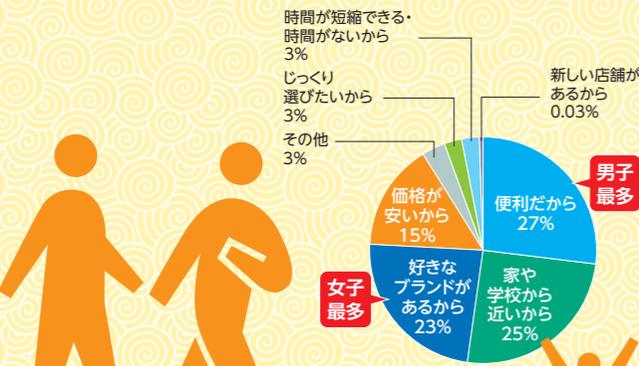
1 どこが一番ショッピングをしますか?



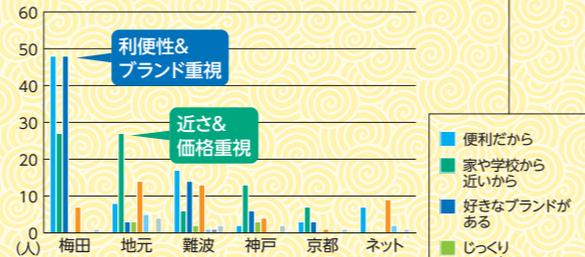
■学年別ショッピングに行く場所



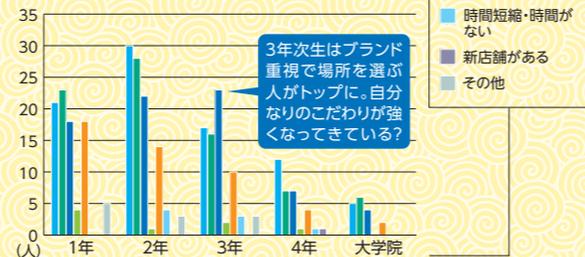
2 その場所に行く主な理由は?



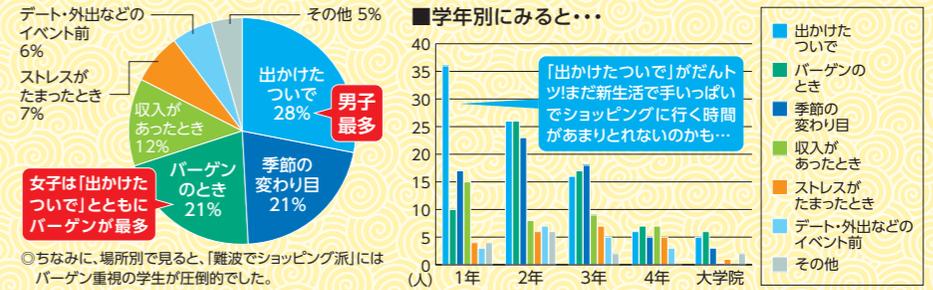
■地域別でみると...



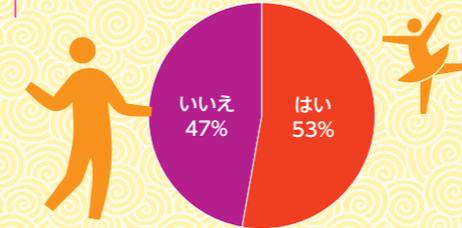
■学年別でみると...



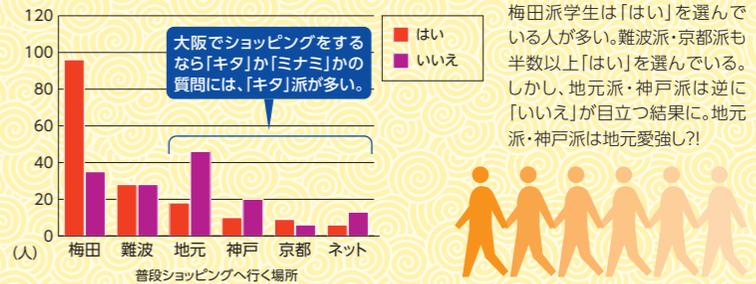
3 ショッピングに行くタイミングは?



4 駅周辺が再開発され、梅田に行く回数は増えましたか?



■全体でみるとほぼ同数ですが地域別で見ると...



5 もっと大阪のまちを活性化させるにはどうすればいい?

皆さんからのアイデアを募りました。



学年	性別	普段ショッピングする場所	アイデア
M2	男	梅田派	大阪のまちは十分に元気。もっと元気が足りない地域と連携して、お互いにより活発になればいいと思う。
M2	女	京都派	買い物は楽しいけれど疲れるもの。公園があれば、休憩ができ、さらに購買意欲が戻ってくるのでは?
法2	男	地元派(高槻)	阪神優勝!または企業誘致。
文3	男	梅田派	関大がもっといい大学になる!!
文3	女	神戸派	治安を良くしてほしい。じゃないと、集まるものも集まらない。
経4	男	梅田派	大阪らしさを前面に出していく。観光では、おばちゃんツアーガイドをして、大阪文化に触れてもらう。
商3	男	梅田派	海外からも積極的に会社を呼び込む。そのための政策を惜しんではいけません。
商3	男	梅田派	年代による区分が活発化しているように感じる。50代に受ける商業施設は20代には受けない。バランスを考えつつも、ニーズに合わせた商業施設が必要。
商3	女	神戸派	大阪には観光スポットが多々あるのに、大阪の人は新しい施設を求めてばかり。既存の場を生かせば、多少は元気になるのではないかな。
社3	女	梅田派	アイドルをよぶ。
社4	女	地元派(北千里)	「お得意」[面白さ]が感じられる商品づくり。ボリュームの割に安い焼き、ケチャップで大阪弁のメッセージを描いてくれるオムライス屋さんなど。
政策3	女	梅田派	5,000円以上大阪で買い物した人には、交通費を免除すれば遠出して買い物をする人が多くなると思う。
総情1	男	地元派(三田)	まず私たちが元気であるべき。
総情2	男	ネット派	どこに何があるのか把握できないため、店舗をマップ化した物の配布や看板を設置する。スマートフォンを使って、AR(拡張現実)を利用すれば費用も抑えられるのではないかな。
安全3	男	難波派	まちの開発は進んでいると思うので、公園などの自然を増やしていけばいいと思う。
シス理4	男	梅田派	梅田周辺は再開発によって活気づいたと感じる。これはルクアのような新しい施設ができたからだけでなく、道が分かりやすくなり、清潔になったからだと思う。思い切った再開発は人を集め、その地域を活性化させることができると思う。
環都1	男	難波派	学生が盛り上げる。



OPINION OF PROFESSOR

商学部 三谷真准教授

キタは大人の街でミナミは若者の街、とよく言われます。学生もミナミで遊び、買い物すると私も思っていました。ところが、そうではないことが今回のアンケートで判明。私のゼミ生に聞いても、ミナミは「怖い」「汚い」でも「安い」という答えが返ってきました。利便性で一步遅れているミナミが、JR大阪

駅周辺の再開発でお洒落になったキタにますます差を付けられそうです。買い物行動では、女子学生がバーゲンに敏感なことが判りますが、それは男子学生がお洒落に関心がないからでしょうか? 「草食系」男子はお洒落もしない?あるいは邪魔くさいから?消費を引っ張っているのはどの世代でも、やっぱり女性なのですね。大阪らしいのはミナミですが、これからのキタが新しい大阪像を創ることができれば大阪のイメージも変わるかもしれません。キタとミナミがそれぞれの魅力と特性を磨いていくことが大阪を活性化させる一番の道なのでしょう。

次号のテーマは... 「関大生スマホ事情」

情報化社会に大きな影響を与え、今や日本人の5人に1人が利用しているという「スマートフォン」。10月号では「関大生スマホ事情」をテーマに、活用術や魅力など、スマートフォンの利用について考えてみましょう。

地方公務員／警察官

大阪府堺警察署

山本友希さん

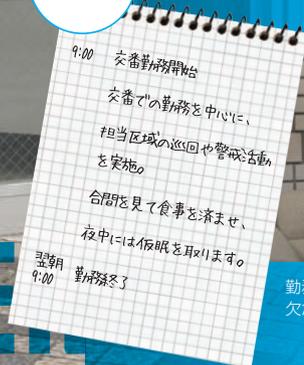
大阪府城南学園高等学校出身
2007年社会学部卒業



地域の皆さんにとって身近で
頼れる存在でありたいです。

市民にとって警察の身近な窓口である交番で、警察官として勤務している山本友希さん。住民からの相談や悩み事に真摯に対応し、事件・事故などの110番通報にいち早く駆け付け、自転車で管轄内を巡回するなど、地域の治安を守るため忙しく勤務されています。「困っている人にはできる限り親身になって、犯罪に対しては強い正義感で厳しく応じる、地域の皆さんにとって身近で気軽に頼れる存在でありたいです」と語る山本さん。現在は、警察官として安心・安全に暮らせる街づくりに貢献できていることに、大きなやりがいを感じているそうです。そんな山本さんが警察官を志したのは中学生のとき。お父さんが警察官であったことに加えて、もともと正義感が強く、世の中で起こっている事件に大きな憤りを感じ、犯罪に自ら立ち向かいたいと考えたのがきっかけでした。以来、地元の大阪府警察を目指して勉強を続け、大学時代は射撃部に所属するなど、夢の実現のために努力してきたといいます。「警察という男性の職場と考えている方も多いようですが、女性の警察官だからこそ相談に来られた方に安心してもらえたり、頼りにされるという場面も多々あります。それに現在は大阪府警察でも多くの優秀な女性警察官が役職に就き、活躍されています。これから就職活動を行う女子学生で、何か世の中の役に立つ仕事をしたいと考えている人には、警察官も選択肢の1つに加えていただきたいですね」と優しい笑顔で答えてくれました。

ある1日の
スケジュール



勤務中に使用するアイテム。道を聞かれることが多いので地域の地図は
欠かせません。

大阪府堺警察署 龍神交番



POLICE OFFICER

VIVA!!

学び易



社会学部 マス・コミュニケーション学専攻

『メディアが創る「現実」 ～外国人が旅する“Nippon”研究～』

山口誠 教授

メディアが創る観光現象から現代社会を考える。

メディアと観光にまつわるさまざまな研究を通じて、
資料収集やプレゼンテーションの技法の習得を目指します。

テレビや雑誌、ガイドブックなどが番組や誌面で取り上げることで、新たな行列店や人気スポットが誕生することは現代社会ではよくある現象です。メディアは既に存在する現実を伝えるだけでなく、その現実を編集・加工し、新たな「現実」を創り出します。山口誠教授ゼミでは、こうしたメディアと現実の相関関係を考え、そのメカニズムを解明することを目的としており、特に「観光に関わる社会現象」にフォーカスして研究を行っています。今年度は前期で「富士山」「山ガール」「高尾山」という、いずれもメディアによって創り出されたムーブメントをテーマに、2人1組のチームがそれぞれの視点やアプローチで研究。文献を読み込んで資料を収集し、仮説を立ててフィールドワークなどで検証した上で論理的に発表します。こうして前期で研究・発表の技法を身に付けたら、後期は「海外のメディアが描く日本」を主題に、さらに深く掘り下げた研究を実施。アメリカの新聞・ニューヨークタイムズに過去100年間掲載された“Nippon”に関する記事を収集し、各チームが自由なテーマで発表を行います。これらの研究成果は、来年7月に行われる観光学術学会での発表も予定されているため、より独自性が高い“とんがった”研究が期待されています。

このように山口ゼミでは、課題や発表の機会を多く設けることで、資料収集やプレゼンテーションの技法を徹底的に習得することを目指しています。「授業はハードではあるもののやり遂げれば大きな自信を得ることができる」と、ゼミ生たちも高いモチベーションを持って取り組んでいました。



八木達祐さん(3年次生)

厳しい環境で自分を成長させたいと考え、このゼミを選びました。ここでの研究を通じて、メディアが創り出す社会のからくりを見破ることができる大人になりたいです。



樋谷祥未さん(3年次生)

授業内容はうわさ以上にハードでしたが、その分得られているものも大きいですね。物事に対する興味の幅がすごく広がりますし、1つの出来事を多角的に考える習慣が身に付いたと思います。



社会学部
山口誠 教授

ゼミでは学会で学者たちを驚かせるくらいクオリティの高い研究を目指していますし、そうした能力をもとに社会で活躍している先輩もたくさんいます。学生たちにはここで思考力と行動力を養って、誰も思い付かないような場所や考え方にたどり着いてほしいですね。



関西大学スポーツの歴史 オリンピック編

今年の夏的一大イベント、ロンドンオリンピックの開幕を控えた今、メディアを中心にさまざまな競技に注目が集まっています。

そこで今回は120年以上の歴史を有する関西大学スポーツ史の中から、特に夏季オリンピックにまつわる話題をピックアップしてお伝えします。

第10回ロサンゼルスオリンピック



陸上競技部の大島鎌吉さん(当時法2)と長尾三郎さん(当時法1)が本学で初めてオリンピックに出場。大島さんは三段跳びで銅メダルを獲得しました。

ロサンゼルスオリンピックでの大島鎌吉さん

第16回メルボルンオリンピック

陸上競技部OBの園田裕四郎さんが走り幅跳びに出場。さらにサッカー部の古川好男さん(当時法4)もサッカー日本代表として出場しました。

第17回ローマオリンピック

レスリング部の市口政光さん(当時文3)がグレコローマンスタイルバンタム級で、OBの重岡完治さんがグレコローマンスタイルヘビー級で出場。さらにホッケー部の佐土市良さん(当時経2)、OBの安部忠俊さんも出場。市口さんは7位に入賞しました。



第28回アテネオリンピック

水泳部の山田沙知子さん(当時文4)が女子競泳400mに出場し、6位入賞を果たしました。下小鶴綾さん(当時文4 現在ベガルタ仙台レディース所属)は女子サッカー日本代表として出場。ベスト8に輝きました。

1932

第11回ベルリンオリンピック



ベルリンオリンピックでの長尾三郎さん

陸上競技部からOBの大島鎌吉さん、長尾三郎さん、古田康治さん、谷口睦生さん(当時法1)、福田時雄さん(当時法2)、戸上研之さん(当時経1)の6選手がオリンピック出場を果たしました。



1936

1956

1960

1964

1968

第18回東京オリンピック

レスリング部OBの市口政光さんがグレコローマンスタイルバンタム級で優勝し、本学初のゴールドメダリストに輝きました。

第19回メキシコオリンピック

サッカー部OBの湯口栄蔵さんがヨーロッパ派遣選手、オリンピック代表選手に。この大会で日本代表は銅メダルを獲得しました。

1988

第24回ソウルオリンピック

馬術部OBの若原尚さん(現馬術部総監督)が総合馬術日本代表として出場しました。



2004

2012

奥和義先生のロンドンレポート(在外研究員として現地滞在中)

オリンピックを控えたロンドンの様子



政策創造学部 奥和義教授

先日、英国で聖火リレーが始まり、ようやくロンドンもオリンピック関係の報道が活発になってきました。またトラファルガースクエアにあるカウントダウンの時計前で、多くの観光客が記念写真を撮っています。ただし、日本で予想されるような熱気は、現地では正直なところ感じられません。衛星放送で見る日本のテレビ局は、オリンピックのコーナーを設けて連日特集を組んでいるようですが、こちらでは、サッカーの欧州チャンピオンズリーグでチェルシーがバイエルンミュンヘンに劇的な勝利で初優勝したこと、そして6月初めのエリザベス女王即位60周年記念イベントが大きく報道されています。特にエリザベス女王関係は、書店でも本が多く並べられています。このようなことは、3回目の開催という余裕とロンドン東部の再開発目的でオリンピック誘致を行ったことと関係しているのかもしれませんが、ただ、この記事が読者の目に留まる頃には、ロンドンの次の大きなイベントがオリンピックとなり、ロンドンがオリンピックの熱狂の渦中にあるかもしれません。





社会学部3年次生

末永光さん

文章で表現する面白さを再確認できた。

関西大学の学生が編集やデザイン、撮影、営業に至るまで、制作の全てを手掛ける“関大生による関大生のためのフリーペーパー”『Lin:KU(りんくう)』。その副代表として、主にインタビュー記事を担当している末永光さん。将来はマスコミ志望で文章を書くのが大好きという彼女にとって、Lin:KUの制作に携われることは「とても楽しくて貴重な体験」と言います。「取材対象者にお話を伺い、たくさんの興味深い話題がある中で、相手がみんなに伝えたいこと、私やLin:KUが読者に感じてほしいこと、どのように表現すればみんなの心に届くだろうか、そのようなことを考えながらインタビューしている時間が本当に楽しくて。記者になりたいという気持ちがますます強くなりました」。そんな末永さんがマスコミを志したのは高校生の時。昔から活字を読むのも書くのも大好きとい

う彼女にとって、新聞はとても身近な存在。それとは対照的に周囲は新聞を読まない、活字が嫌いという人が多く、どうしたらみんなに新聞の面白さを分かってもらえるかを考えているうちに、「自分で記事を書きたい」という思いが湧き出てきたそうです。

現在、さまざまな人が経験したことや感じたこと、伝えたいことを文章で表現し、多くの関大生に発信している末永さん。「このフリーペーパーを手にした人が、誌面に詰まったたくさんの思い、そのかけらでも心に留めて、それが蓄積していつか新たな一歩を踏み出すきっかけになってくれたらうれしいですね」とLin:KUに込めた思いを語ってくれました。



Lin:KU(りんくう)

野村紗英子さん(高4)がツイッターで「フリーペーパーをつくりたい」と呼び掛けたことをきっかけに、制作がスタートした“関大生による関大生のためのフリーペーパー”。昨年12月のプレ創刊号に続いて、今年4月には創刊号を発行。頑張る学生や心温まるエピソード、旬な話題など、関西大学の中にある「人・こと・もの」にフォーカスし、紹介しています。次号は、7月9日(月)に発刊されます。

次号では、末永さんからのご紹介で震災を語り継ぐ活動に取り組んでいる小島汀さん(文3)が登場。お楽しみに!



Hikari Suenaga

平成23年度 学校法人関西大学 決算の概要

— 多彩な国際化事業の推進 —

学校法人関西大学 理事長 上原 洋允



1 はじめに

平成23年度決算は、理事会(平成24年5月17日)で議決・承認され、評議員会(平成24年5月31日)に報告いたしました。

本学は、建学の精神のもと、学生や社会の多様化するニーズに応え、個性豊かで、特色ある教育研究事業を展開し、グローバル化・情報化社会に対応できる高度な人材の育成に努めてまいりました。

平成23年度は、本学の新たな国際化推進の拠点となる「関西大学南千里国際プラザ」が完成し、平成24年4月から同プラザに「留学生別科」を開設しました。

また、独立行政法人日本学生支援機構から取得した「大阪第一国際交流会館1号館」は、「関西大学南千里国際学生寮」として主に留学生を受け入れ、平成24年4月から運営を開始しました。

海外拠点では、「関西大学日本・EUセンター(ベルギー)」、「関西大学上海オフィス」に続いて、平成23年10月に「関西大学バンコクオフィス」を、さらに平成24年4月には、「関西大学台湾オフィス」を開設するなど、多彩な国際化事業を展開いたしました。

私立大学を取り巻く環境は、先行き不透明な経済情勢や少子化の進行に加え、国際的な大学間競争が激化するなど、厳しい状況が続いておりますが、本法人が、私立大学として社会的使命を果たし、永続的に発展・成長していくためには、「オール関大」の強みを一段と発揮すると共に、これまで以上に財政基盤を安定させなければなりません。

今後も財政の健全化と強化に向けて一層の努力を重ねてまいりますので、皆さま方のさらなるご理解とご支援を賜りたく存じます。

それでは平成23年度決算につきましてご説明いたします。

2 事業の概要

平成23年度に実施した事業のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動

ア 英語によるコミュニケーション力の向上

4人1組の超少人数レッスンで、英語の実践的コミュニケーションを学ぶ「General Tutorial English(ジェネラル・チュートリアル・イングリッシュ)」を短期集中型講義により、千里山キャンパスにおいて実施しました。1日2コマ10日間(計20コマ)の講座を冬季集中で実施し、95名が受講しました。受講前と受講後に実施した成果測定では、全体的にスコアの上昇が認められ、この結果を踏まえ、今後、本格的導入に向け、検討を進めていく予定です。

イ 大学院東アジア文化研究科および大学院ガバナンス研究科の開設

平成23年4月、新たに2つの研究科を開設しました。

グローバルCOEプログラム「東アジア文化交渉学の教育研究拠点」における人材養成を担う組織として、平成20年4月に設置した文学研究科文化交渉学専攻を独立させ、東アジア文化研究科文化交渉学専攻博士課程前期課程・後期課程を開設しました。本学の特色である東アジア文化における世界トップレベルの独創的教育・研究を行い、優れた若手研究者を継続的に育成しています。

また、関西大学で初めて政策系大学院研究科となるガバナンス研究科ガバナンス専攻(修士課程)を開設しました。政策学を基盤とした教育・研究により、様々な領域において社会問題の解決に貢献できる人材を養成しています。

ウ 科学研究費助成事業—科研費—の獲得

科学研究費助成事業—科研費—の政府予算額は毎年増加しており、平成23年度は対前年度比633億円(約31.7%)増の2,633億円と大幅に拡充されました。本学における、新規の内定件数は前年度との比較で36件増115件、交付金額では

74,545千円(38.0%)の大幅増となりました。全体では、件数が50件増の244件、交付金額が96,552千円増の497,363千円となりました。すべての4年制私立大学の中で交付金額ベースのランキングにおいて、本学は第12位となっております。

エ eラーニングの運用・推進

教材や講義の配信に加えて授業支援機能や学習管理機能を併せ持つ「eラーニングシステム」の活用を促進するため、スマートフォンへの教材の配信や収録した講義の即時配信の増強、授業支援機能の向上などを図りました。一方、学外向けには、東京大学などに続き国内5番目の大学としてiTunes® Uに教材・講義の公開を行いました。

オ 多彩な国際化事業の推進

平成24年4月開設の関西大学留学生別科(日本語・日本文化教育プログラム進学コース)では33名の第1期入学生を迎えました。

平成23年度は、学生募集活動として中国、韓国、台湾、インドネシア、タイ、ベトナムおよびマレーシアでの留学フェアに参加すると共に、海外の教育機関を訪問し、積極的な広報活動を展開しました。

一方、本学の学生に対し留学への関心を高めるため、国際教育セミナーの開催、留学ガイダンスの実施、協定大学の担当者による留学相談「留学エキスポ」など、留学を促進するための多彩な行事を実施しました。

カ 就職状況・キャリア形成支援について

平成23年度は、東日本大震災の影響で、一部の業界や企業が選考を急ぎ遅らせるなど採用活動に混乱が生じ、また日本経済は混迷を深めました。しかしながら、各企業の雇用意欲は意外と堅調であり、キャリアセンターの取り組みも功を奏して本学の内定率は95.3%となり、前年度を1.0ポイント上回る結果となりました。

エクステンション・リードセンターでは、公務員、司法、会計などの15講座を主に千里山キャンパスで開講し、高槻ミューズキャンパスにおいても、英語講座・TOEICテスト対策コースを開講した結果、受講生は延べ2,986名となりました。また、国内旅行業務取扱管理者、宅地建物取引主任者など、ほとんどの各種難関資格試験で、全国平均合格率を上回りました。

キ 東日本大震災への対応

東日本大震災(福島第一原子力発電所事故を含む)により被災した在学生(新入生含む)の修学を支援するため、本学は授業料等の減免(全額・半額)、加えて本学学生への「関西大学災害特別義援金」を原資とする修学支援助成金や教育振興植田基金から植田特別奨励金を給付するなどの経済的支援を行いました。これらの経済的支援のほか、住居、心理相談等あらゆる面からのサポートを行いました。

また、被災された一般の方々に対する「関西大学震災義援金」を募集し、総額7,011,281円を日本赤十字社に寄付しました。

学生によるボランティア活動では、有志による卒業式・入学式での募金活動や、被災地での支援活動など、学生自らが被災者のニーズを考え、さまざまな取り組みを行いました。

(2) 教育研究環境の整備充実関係

ア 関西大学南千里国際プラザ建設工事、南広場整備工事および外構工事

平成24年2月、阪急千里線南千里駅の南東、徒歩5分のところに「関西大学南千里国際プラザ」が竣工しました。敷地面積10,035.51㎡の土地に、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上8階建の寮棟および地上3階建の教室棟(延床面積7,034.32㎡)を建設しました。寮棟には寮室165室を配置し、留学生のほか、本学の日本人学生がRA(レジデント・アシスタント)として入寮して、留学生の日常生活をサポートします。教室棟には、留学生別科をはじめ日本語・日本文化教育プログラムに用いられる教室のほか、図書室、自習室および式典なども挙行できる150名収容可能なホール等を設置しています。

また、人工芝の敷設と植栽により南広場を整備し、留学生と地域住民との交流など南千里国際プラザの行事に活用する予定です。

イ 関西大学南千里国際学生寮の整備

阪急千里線南千里駅の北側、徒歩約10分のところに、日本学生支援機構が所有していた「大阪第一国際交流会館1号館」を取得しました。敷地面積3,902.87㎡、鉄筋コンクリート造地下1階地上7階建(延床面積3,693.28㎡)の建物には、寮室144室、共用施設として談話室や自習室などを備え、交換受入留学生を中心に、一般学生との国際交流寮として運営していきます。



関西大学南千里国際プラザ



関西大学南千里国際学生寮

ウ 総合図書館空調改修工事

図書館内全域の空調設備について、昭和59年の建設時に導入された設備を更新し、経済性・快適性・効率性を図るため、改修工事を実施しました。

エ 簡文館耐震改修工事

昭和3年(増築部分は昭和30年)に図書館として建設された簡文館は、平成6年からは、主に博物館として活用しており、平成19年「登録有形文化財(建築物)」の登録を受けました。平成23年度は、築83年を経た同建物の耐震改修工事を実施し、同時に老朽していた電気設備や給排水衛生設備の更新も行いました。

3 収支計算書

平成23年度決算書をはじめ、関西大学の財務情報は本学ウェブサイト

学校法人は、予算によって執行された結果である決算について、文部省令に定める「学校法人会計基準」に基づき、財務計算に関する書類として、「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」とそれぞれの内訳表あるいは明細表の計算書類を作成することになっています。

「**資金収支計算書**」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ、支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。資金の動きのすべてが計算の対象となります。

「**消費収支計算書**」は、当該会計年度における消費収支の均衡状態と、その内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すものです。この計算書は、いわば企業会計の「損益計算書」にあたるものです。

「**貸借対照表**」は、学校法人の一定時点(決算日)における資産、負債、基本金、消費収支差額の財政状態を示すものです。

「**財産目録**」は、「貸借対照表」を基準にして組み替えて作成したものです。

「**監査報告書**」には、私立学校法第37条第3項第3号に基づく監事による「監事監査報告書」および私立学校振興助成法第14条第3項に基づく監査法人による「独立監査人の監査報告書」があります。

ここでは紙幅の関係上、計算書類の総括表のみ掲載しておりますが、「関西大学ウェブサイト」に財産目録などの詳細な財務情報を掲載いたしておりますので、ご覧ください。

[URL:<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>]

4 収支決算の概要

資金収入は526億円、人件費支出は238億円

「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」の概要について説明いたします。

(1) 資金収支決算

平成23年度資金収支決算は、12ページに掲載の「資金収支計算書(総括)」のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、526億1,910万8,419円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出を含め、524億5,784万3,483円となりました。この結果、収支差引き1億6,126万4,936円の収入超過となり、これに前年度繰越支払資金123億6,531万1,647円を合わせた結果、次年度繰越支払資金は、125億2,657万6,583円に増加しました。

(2) 消費収支決算

平成23年度消費収支決算は、12ページに掲載の「消費収支計算書(総括)」のとおりです。

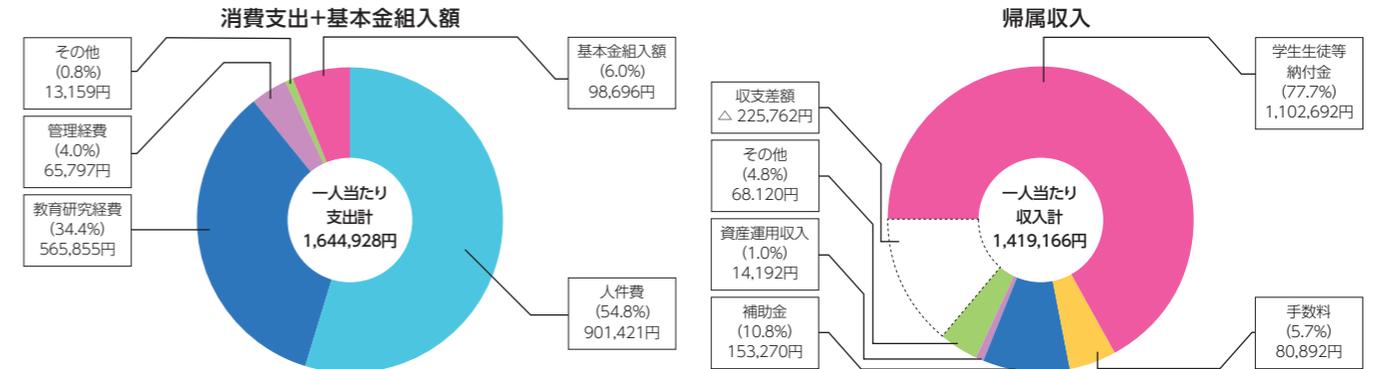
帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、補助金などの法人に帰属する負債とならない収入で、468億6,086万2,936円となりました。また、基本金組入額は、32億6,749万4,836円となりましたので、帰属収入から基本金組入額を控除した消費支出に充当することができる消費収入は、435億9,336万8,100円で、予算に対し6億4,394万4,900円の減となりました。

一方、消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費で、510億4,802万4,111円となりましたので、平成23年度決算における消費収支の均衡状況は、74億5,465万6,011円の消費支出超過となりました。なお、当年度の消費支出には、文部科学省の通知に基づき退職給与引当金の計上方法を変更したことに伴う、退職給与引当金特別繰入額63億7,538万1,472円が含まれています。この結果、翌年度繰越消費収支差額は、前年度繰越消費支出超過額が340億5,268万5,646円でありましたので、415億734万1,657円を翌年度繰越支出超過額として計上することが確定しました。

(3) 貸借対照表

平成23年度末(平成24年3月31日)現在の資産、負債、基本金、消費収支差額の財政状態を示しています。

消費収支決算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賄う収入」



(注) 1 (消費支出+基本金組入額)および帰属収入の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生数33,020人(大学院・学部・高等学校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等1人当たりの平均値を示したものです。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、または将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額です。

資金収支計算書(総括) 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
1 人件費支出	24,021,278,000	23,841,782,504	179,495,496	1 学生生徒等納付金収入	36,175,327,000	36,406,429,725	△ 231,102,725
2 教育研究経費支出	12,621,798,000	12,789,058,094	△ 167,260,094	2 手数料収入	2,784,177,000	2,687,143,630	97,033,370
3 管理経費支出	2,077,089,000	1,891,385,571	185,703,429	3 寄付金収入	300,000,000	288,844,540	11,155,460
4 借入金等利息支出	79,460,000	79,039,443	420,557	4 補助金収入	4,930,713,000	5,052,110,219	△ 121,397,219
5 借入金等返済支出	761,630,000	1,169,670,000	△ 408,040,000	5 資産運用収入	768,351,000	453,659,995	314,691,005
6 施設関係支出	4,049,486,000	2,863,867,865	1,185,618,135	6 資産売却収入	300,000,000	300,000,000	0
7 設備関係支出	1,820,371,000	1,886,333,787	△ 65,962,787	7 事業収入	940,201,000	866,638,444	73,562,556
8 資産運用支出	6,787,160,000	6,758,051,406	29,108,594	8 雑収入	991,845,000	997,558,991	△ 5,713,991
9 その他の支出	3,150,746,000	2,991,350,476	159,395,524	9 借入金等収入	3,051,000,000	1,850,000,000	1,201,000,000
10 予備費	600,000,000	---	600,000,000	10 前受金収入	6,673,664,000	6,560,885,922	112,778,078
11 資金支出調整勘定(小計)	△ 1,373,984,000	△ 1,812,695,663	438,711,663	11 その他の収入	4,761,738,000	4,704,037,296	57,700,704
12 次年度繰越支払資金	(54,595,034,000)	52,457,843,483	2,137,190,517)	12 資金収入調整勘定(小計)	△ 7,447,550,000	△ 7,548,200,343	100,650,343
	11,999,744,000	12,526,576,583	△ 526,832,583	13 前年度繰越支払資金	(54,229,466,000)	52,619,108,419	1,610,357,581)
					12,365,312,000	12,365,311,647	353
支出の部 合計	66,594,778,000	64,984,420,066	1,610,357,934	収入の部 合計	66,594,778,000	64,984,420,066	1,610,357,934

(注) 予算の流用を含む。

消費収支計算書(総括) 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

消費支出の部				消費収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
1 人件費	30,311,609,000	29,772,162,349	539,446,651	1 学生生徒等納付金	36,175,327,000	36,406,429,725	△ 231,102,725
2 教育研究経費	18,566,443,000	18,670,766,499	△ 104,323,499	2 手数料	2,784,177,000	2,687,143,630	97,033,370
3 管理経費	2,379,258,000	2,169,818,778	209,439,222	3 寄付金	452,000,000	394,891,038	57,108,962
4 借入金等利息	79,460,000	79,039,443	420,557	4 補助金	4,930,713,000	5,052,110,219	△ 121,397,219
5 資産処分差額	19,327,000	356,059,422	△ 336,732,422	5 資産運用収入	768,351,000	453,659,995	314,691,005
6 徴収不能引当金繰入額	0	0	0	6 資産売却差額	150,000	150,000	0
7 徴収不能額	0	177,620	△ 177,620	7 事業収入	940,201,000	866,638,444	73,562,556
8 予備費	600,000,000	---	600,000,000	8 雑収入	991,845,000	999,839,885	△ 7,994,885
				帰属収入合計	47,042,764,000	46,860,862,936	181,901,064
消費支出の部 合計	51,956,097,000	51,048,024,111	908,072,889	基本金組入額合計	△ 2,805,451,000	△ 3,267,494,836	462,043,836
				消費収入の部合計	44,237,313,000	43,593,368,100	643,944,900
合計	51,956,097,000	51,048,024,111	908,072,889	当年度消費支出超過額	7,718,784,000	7,454,656,011	264,127,989
当年度消費支出超過額	7,718,784,000	7,454,656,011		合計	51,956,097,000	51,048,024,111	908,072,889
前年度繰越消費支出超過額	34,052,686,000	34,052,685,646					
翌年度繰越消費支出超過額	41,771,470,000	41,507,341,657					

(注) 予算の流用を含む。

貸借対照表 平成24年3月31日

科目	平成23年度末	平成22年度末	増減	科目	平成23年度末	平成22年度末	増減
資産の部				基本金の部			
固定資産	186,420,754,194	183,899,203,281	2,521,550,913	第1号基本金	191,355,595,630	188,223,191,529	3,132,404,101
有形固定資産	114,450,077,632	115,686,951,300	△ 1,236,873,668	第2号基本金	708,253,871	658,253,871	50,000,000
その他の固定資産	71,970,676,562	68,212,251,981	3,758,424,581	第3号基本金	19,815,568,882	19,781,478,147	34,090,735
流動資産	14,441,119,516	14,288,475,752	152,643,764	第4号基本金	3,023,000,000	2,972,000,000	51,000,000
資産の部 合計	200,861,873,710	198,187,679,033	2,674,194,677	基本金の部 合計	214,902,418,383	211,634,923,547	3,267,494,836
負債の部				消費収支差額の部			
固定負債	17,951,227,464	11,213,087,619	6,738,139,845	翌年度繰越消費支出超過額	△ 41,507,341,657	△ 34,052,685,646	△ 7,454,656,011
流動負債	9,515,569,520	9,392,353,513	123,216,007	消費収支差額の部 合計	△ 41,507,341,657	△ 34,052,685,646	△ 7,454,656,011
負債の部 合計	27,466,796,984	20,605,441,132	6,861,355,852	負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部 合計	200,861,873,710	198,187,679,033	2,674,194,677

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

国際知的財産権シンポジウムを開催

法学部では、毎年、JICA（国際協力機構）との共催で、JICAの「国際知的財産権コース」研修で来日されている各国政府の行政官を招いての国際知的財産権シンポジウムを開催しています。本年度は、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの11か国から13人の知財行政官を招いて、7月11日（水）開催予定です。各国の知的財産法整備の状況はもとより、現在の課題を紹介いただき、参加者（例年、学生だけでなく企業の方々も参加）と共に、国際的な知的財産制度の調和について考えます。（学生主任 山名美加教授）

政策創造学部／ガバナンス研究科

第3回「政策創造の甲子園」を開催

第3回の「政策創造の甲子園」を行うことが決まりました。本イベントは、豊かな発想を持った高校生に研究発表の機会を提供する論文大会で、2010年から開催しています。昨年は、全国から60件を超える応募があり、高校生の発想力・好奇心には関心するばかりでした。過去2回のコンクールで入賞した高校生で、本学部に入学生した学生も2人います。在学生の皆さんも、高校生に負けない豊かな発想力・好奇心を持って日々研鑽に励み、「真の実践的政策立案力」を養いましょう。（深井麗雄教授）

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

いよいよ夏。理工系3学部・理工学研究科の学びの暑い季節。

7月には、「春学期末試験」あるいは「到達度の確認」によって、学生の皆さんが春学期の講義を通じて身に付けた知識と能力が試されます。健康に気を付けて、万全の態勢で臨んでください。8月25日（土）には、理工学研究科博士課程前期課程の一般入学試験が行われます。受験する学生の皆さんは夏季休暇を試験勉強に費やすこととなりますが、これまでに獲得した知識を確実に自分のものにするための絶好のチャンスであることを忘れないでください。

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

eポートフォリオシステムの運用

東アジア文化研究科では、在籍する大学院生全員を対象として、eポートフォリオシステムを運用しています。同システムを利用する院生は、毎回の研究指導の内容を書き込み、発表資料もここにアップすることで、研究の進展を記録し振り返ることができます。また教員も指導院生のほか全院生の研究内容を把握し、それにコメントやアドバイスを書き込むことができます。本研究科では、各院生に副指導教員を指定して集団指導体制をとっていますが、eポートフォリオはその実質化のための有力なツールとなっています。（東アジア文化研究科副研究科長 藤田高夫教授）

外国語学部／外国語教育学研究科

集いの場を学びの場へ

外国語学部・外国語教育学研究科には、学生・院生の集いの場が2つあります。1つは学部生のためのSA支援センターで、もう1つは教職に興味を持つ学部生や院生が集う英語教育連環センター（e-LINC）です。どちらにもスタッフが常駐し、留学や外国語学習、教材作成や教員採用試験などの相談にも気軽に応じてくれます。こうした場の醍醐味は、学年や立場を越えた人々が共に集うことです。学生・院生の皆さんがフル活用することで、自発的な学びが多く起こることを期待しています。（池田真生子准教授）

経済学部／経済学研究科

「中東経済寄附講座」

経済学部では、2010年度より、産経新聞社の協力を得て、中東経済を学ぶ寄附講座を開講しています。日本だけでなく、世界的にエネルギー問題は最重要課題の一つであり、とりわけ日本のエネルギーは中東エリアに大きく依存しています。この講座は、このようなエネルギーを含む経済問題はもちろんのこと、中東の文化や生活といった幅広いテーマで展開しています。講師には、各分野のエキスパートや元閣僚をはじめとした多彩な方々が揃っており、毎回熱のこもった講義が展開されています。（学部長 林宏昭教授）

人間健康学部

専門演習に心躍らせる3年次生

3年次生の専門演習がこの春学期から始まりました。私のゼミは、体育会学生が大半を占めており、スポーツ科学を競技力向上に生かす、「学の実化」を目指したゼミです。最初は、自分の長所、短所などを述べ合い、聞く能力、自己表現力を楽しく磨いています。先日は、スポーツメーカーから開発マンに来ていただき、靴づくりで社会貢献にかける熱い思いを語ってもらいました。ゼミ生の反応は上々で、質問攻めで感謝の意を表しました。就職対策もばっちりのゼミです。（学生主任 小田伸午教授）

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

関西大学ビジネスプランコンペティションKUBIC2012を開催

KUBIC（キュービック）は、2006年に関西大学商学部創設100周年記念事業の一環としてスタートした商学部独自の教育プログラム。全国の大学生や高校生、そして一般の方々から応募されたビジネスプラン845件を学内・外の審査員が、目下、厳正な審査を行っています。KUBICの運営には商学部学生25人が活躍しています。8月には本選会に出場できる優勝候補作品が決定します。本選会は10月6日（土）、千里山キャンパスBIGホール100で開催します。記念品も用意していますので、ぜひ優勝候補作品のプレゼンテーションをご覧ください。

総合情報学部／総合情報学研究科

オープンキャンパスで研究成果を発表

6月24日、高槻キャンパスで受験生対象のオープンキャンパスを実施しました。人気を博したのが学生の研究成果を紹介する「ゼミ研究紹介コーナー」。タブレット型端末向けのゲームアプリやアートなインタラクティブ作品を実際に触って楽しんでいただき、開発した絵情生にとっても貴重な体験となりました。



社会学部／社会学研究科

社会学部学術講演会のススメ

社会学部では、企業や大学などで活躍されている方を講師にお招きして、社会問題に関する最新のトピックや、各界でのさまざまな取り組みについての講演会を行っています。春学期は、6月12日に「福島・原発事故から一年」、6月15日に「グローバル化の時代における大学のあり方は？」の両テーマが開催されました。秋学期にも講演会を開催する予定です。著名な研究者や経験豊富な現場の方々から学べる貴重な機会ですので、学生の皆さんは、ぜひ奮って参加してください。

社会安全学部／社会安全研究科

ハーバード大学と社会安全学部

ハーバード大学が第2回アジア公共政策年次フォーラム「アジアにおける災害マネジメント」を5月13日から15日に開催しました。会場はシンガポール国立大学。社会安全学部では、これに協力して河田恵昭学部長をはじめ3人の教員が、セッション座長や話題提供者を務めました。フォーラムにはシンガポール、フィリピン、インド、中国、オーストラリア、アメリカ、日本など14か国から研究者、政府関係者、企業関係者が多数参加して東日本震災などアジアにおけるさまざまな災害について多角的な観点から活発な討論が交わされました。（副学部長 土田昭司教授）

専門職大学院トピックス

臨床心理専門職大学院

大学院生活は全力投球

この春、関西大学を含む15大学から入学してきた30人の大学院生たちの今の様子。「大学院生は社会人」と入学式のある先生の挨拶、服装はレベルが4段階に決められ、まるで新入社員のような格好で「出勤」する日も。専門知識の授業の他に実習が多い。学内実習施設である「心理臨床カウンセリングルーム」では、昨年のはべ1000回を超える心理面接が行われ、それらの面接に同席して記録をとるなど陪席者としても活躍し始めています。火曜日は4限から7限までぶっ通し。6・7限は初回面接に来られた相談ケースの検討会と先輩方の心理療法の報告会。先生方からは厳しいコメントが飛び、翌朝は1限から… 確かに忙しいが、全力投球できる彼らの姿は、どこか美しい。（副専攻長 池見陽教授）

併設校トピックス

関西大学高等部

第1回卒業研究発表会を開催

高等部では探究力育成の成果として、1期生125人が各自の興味関心に基づいたテーマで12,000字の卒業研究を作成しました。生徒は研究要旨を約8分にまとめプレゼンを行い、優秀発表に選出された5人の生徒による卒業研究発表会を5月11日に開催しました。多くの聴衆の前で緊張しながらも堂々とした態度で発表し、大学の先生方からの難しい質問にも自分の考えで答えるなど、生徒にとって非常に有意義な発表会となりました。



Attention 大学からの重要なお知らせ

「定期試験（筆記試験）」「到達度の確認」の注意事項・受験心得

初めて試験を受ける1年次生必見！

1 学生証を忘れずに！

学生証がない場合は試験を受験できません。紛失した場合は、至急教務センター（もしくは各キャンパス事務室）で再発行の手続きをしてください。試験日に忘れた場合は、教務センター・各学舎授業支援ステーション・各キャンパス事務室で「受験許可証」の交付を受けてください。

2 試験の教室に注意！

通常授業と教室が異なる場合があります。また、同じ科目でも学籍番号によって教室が分かれている場合もあります。

3 不正行為には厳正に対処

不正行為をした場合は、春学期試験ですでに受験した科目は全て無効になり、残りの科目についても一切受験できません。なお、答案を持ち帰ることや、故意に学籍番号・氏名を偽った場合も不正行為になりますので注意してください。

4 遅刻は厳禁！

授業でも試験であっても遅刻は厳禁です。試験を受験できない場合もありますので注意してください。また、公共交通機関の遅延など不測の事態にも対応できるよう、早めの通学を心掛けてください。

5 病気など正当な理由で受験できない場合は…

医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認」に相当する学力確認を受けることができます。教務センターもしくは各キャンパス事務室まで申し出てください。その他、試験中に何かあれば試験監督者に質問してください。

6 成績発表の日時・確認方法

インフォメーションシステムで発表します。

関大トピックス

世界初、3次元LSI貫通電極のオールウェット形成技術を開発

システム理工学部の新宮原正三教授らの研究グループは、3次元実装技術研究において、微細かつ高アスペクトな次世代TSVへの銅埋め込みを可能とするオールウェット形成技術の開発に成功。5月24日、千里山キャンパス100周年記念会館で記者発表を行いました。

本技術は、バリア層・シード層形成を、世界で初めて無電解めっき法で行うもので、高真空装置を使用していた従来技術と比較して、製造プロセスの低温化および低コスト化が実現できます。今回の開発により、銅を用いたTSV技術に関して、微細化の推進に大きく寄与するだけでなく、大幅な低コスト化と信頼性の向上が可能となり、スマートフォンやタブレット端末の高機能化に貢献することが期待されます。

大学での記者発表に引き続き、5月31日にはアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催された、国際電気電子技術協会(IEEE)主催のLSI実装技術およびパッケージ技術に関する世界最大の国際学会、「IEEE ECTC国際学会」で発表を行い、大きな注目を集めました。



5月24日の記者発表の様子

セミナーハウスで夏を楽しむ

教室や研究室とは違った雰囲気の中で、豊かな知的交流を深める場として設けられたセミナーハウス。学生だけでも利用できる白馬駒池高原ロッジ、六甲山荘で気の合う仲間たちと大自然を満喫しませんか。

白馬駒池高原ロッジ

夏にはトレッキングに訪れる人たちにぎわい、避暑地としても人気の駒池高原。ロッジ周辺には雄大な自然はももちろん、パラグライダーやシャワークライミング、熱気球といった、体験型のイベントも充実しています。



六甲山荘

国立公園六甲山の山頂近くにあり、山荘のテラスからは、100万ドルの夜景を一望することができます。周辺には六甲山カンツリーハウス、六甲ガーデンテラス、六甲高山植物園など、自然環境を生かした施設が散らばっています。



申込方法

料金・注意事項など、詳細についてはセミナーハウスウェブサイトをご確認ください。
<http://www.kansai-u.ac.jp/pa/seminar/index.html>
 ※高槻キャンパス、高槻ミュージアムキャンパス、堺キャンパスは各オフィスで受け付け。

体育会空手道部の清水希容さんが、世界大学空手道選手権大会の日本代表に選出。

7月10日(火)からスロバキアで開催されるFISU第8回世界大学空手道選手権大会女子個人形の部の日本代表選手に、体育会空手道部の清水希容さん(文1)が選出されました。清水さんは4月に開催された第46回関西学生空手道個人選手権大会女子個人形の部において優勝。世界大学空手道選手権の代表選手選考会への参加資格を勝ち取る、選考会でも優秀な成績を収め、見事に日本代表に選ばれました。

日本の代表として大会に参加することについて清水さんは、「応援して下さる方々の期待に応えたいという部分でプレッシャーを感じることはありますが、私のモットーである空手道を心から楽しむということを忘れずに、良い成績が残せるように頑張りたいです」と抱負を語ってくれました。同大会では、清水さんと同じ道場の出身で、体育会空手道部OGの梶川凛美さんが前回、前々回大会と連覇を達成。憧れの先輩に続けと、清水さんも優勝を目指して稽古に汗を流しています。



第35回総合関関戦を開催

6月14日から3日間、千里山キャンパスを中心に第35回総合関関戦が開催されました。試合結果は14勝18敗1分けと関西大学は惜しくも勝利に届かず、通算成績は16勝18敗となりました。

前哨戦として5月26日に神戸市立王子スタジアムで開催されたアメリカンフットボールでは、関西大学カイザーが関西学院大学ファイターズに34対30で勝利。総合関関戦では15年ぶりとなる勝利をもち取りました。

8勝12敗1分で迎えた大会最終日には、ハンドボール部が男女共に勝利を収め、ラグビー部が雨中の熱戦で劇的な逆転勝利を収めるなど、意地の追い上げを見せたものの、総合優勝にはあと一步届きませんでした。



撮影:市山光一氏 Accorder Inc.

7月号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「関大生ショッピング事情」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(6月29日に通知予定)

「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

関大人

よもやまばなし

四方山話 ◆ 「ひとりカレー同好会」 政策創造学部 白石 真澄 教授



「三度のメシより好きなもの」、それは「カレー」である。カレー好きが高じてインド人主催のカレー教室にも通った。最初は付き合ってくれていた友人・家族も「もう、カレーはいいや」と冷たいので、「ひとりカレー同好会」である。元々、インドには「カレー」という名前の料理は無く、イギリス人がスパイスを多用した料理をカレーと呼んだことに始まる。海外出張に行っても必ず立ち寄るのがカレーを出す店。華僑よりもインド人はさらに世界中に散らばっており、多くの地域にインド料理店

があって探すには困らない。特にアジアの国で食べるスパイスの効いた辛いカレーが好きだ。日本にもカレーうどん、カレー鍋など、インド人も驚くメニューがあるが、各地で工夫が凝らされている。カレーに含まれるスパイスは体を温め、肝臓にいい他、最近ではアルツハイマー予防にいいことも分かってきた。昨年、不覚にも流感にかかったが、カレーのおかげか30年以上風邪をひかなかった。ぜひ、おいしいカレーを出す店をご存知の方は、カレー同好会の会員になってください!

編集後記

今年の4月から「関西大学通信」の担当になり、企画から取材、原稿作成・確認まで、今号で初めて全ての制作に携わりました。これまで、良い誌面を作ろうという前任者の熱意をすぐ隣で感じていましたが、今回初めて制作に携わり、担当者だけでなく、関大生・卒業生・教員・職員の皆さんの協力があったはじめて「関西大学通信」が完成するのだと実感しました。この編集後記を読んでくれているあなたも、広報課から取材の依頼が来たときは、ぜひ一肌脱ぐつもりで協力してくださいね。(広報課 石田義嗣)

今月の表紙: 東奎太さん(社2)、東昇吾さん(政策1)、岩間陽子さん(商1)、太田美由紀さん(社4)、大滝達也さん(政策1)、大本祥太郎さん(政策1)、岡大貴さん(政策1)、奥田圭祐さん(政策1)、寛すみれさん(社4)、影山亮人さん(経2)、杉本彌了さん(文3)、田中天さん(政策1)、嶋崎拓海さん(政策3)、野村恭平さん(政策1)、寺本卓矢さん(法2)、山崎綾夏さん(政策1)、吉田安佑さん(社3)

KANSAI Univ. NEWS

発行日:2012年6月29日(年9回発行) 発行:関西大学広報委員会 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 電話:06-6368-1121(大代表)



関西大学は
大阪マラソン2012のオフィシャルスポンサーです。